

平成27年度施策評価調書

整理番号	2
評価担当課	経済部営業戦略室営業戦略課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	国内交流の推進(1-5-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
	主要施策	5	交流活動の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	名寄市の姉妹都市(鶴岡市藤島地区)、友好都市(東京都杉並区)との交流により、文化的、行政的、経済的な発展を推進する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	市民団体「名寄・藤島交流友の会」「都市交流実行委員会」の事務局として、交流活動を側面的に支援する。
施策の課題	市は事務局として、市民団体の活動が円滑に行えるように関係機関との調整を図っている。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
友の会間の相互訪問	友の会間の相互訪問数	目標値	15	15	15	
		実績値	13	15	15	
		進捗率	87%	100%	100%	
少年少女交流	スポーツ少年団等の交流事業数	目標値	0	15	15	
		実績値	0	14	16	
		進捗率	#DIV/0!	93%	107%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	訪問団や青少年交流の交流、特産品の相互斡旋など、お互いにとって良い関係を築いてきており、事務局として市民団体を支援する形で今後も継続する。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も市民団体の活動の支援を続ける。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	国内交流事業	道内外での名寄市移住へのPR、「お試し移住住宅」整備	558								
2	都市交流事業	友好都市である東京都杉並区との交流事業の推進	3,479								
3	ふるさと会事業	4ふるさと会に対する支援	1,253								

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	2	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	国内交流事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	5	交流活動の推進
		基本事業	1	国内交流の推進
		実施計画事業	1	姉妹都市・友好都市交流の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	姉妹都市である山形県鶴岡市藤島地域との交流事業の推進			
対象(何を又は誰を)	市民団体(名寄・藤島交流友の会)			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	市は名寄・藤島交流友の会の事務局として側面的な支援を行い、友の会を介した両地域の交流活動を支援する			
意図(どのような成果を期待しているか)	文化、教育、観光など各分野にわたる交流の発展			
事業実施主体	名寄・藤島交流友の会、名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 友の会間の相互訪問 友の会間の相互訪問数	回	目標					
			実績	1	1	1	1	
	2 少年少女交流 スポーツ少年団等の交流事業数	回	目標					
			実績	0	1	1	0	
3			目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	507	635	558	447	国内交流事業費
国道支出金					・旅費 58
地方債			500	300	・名寄・藤島交流友の会補助金 500
その他					
一般財源	507	635	58	147	
人件費	0	2,486	2,486	2,486	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.38	0.38	0.38	0.38	
総事業費	507	3,121	3,044	2,933	
対前年比(%)	—	615	98	96	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	国内の姉妹都市として、名寄市の母村である藤島地区との交流は20年以上続いており、その間様々な交流が実現している。
有効性 4 目的を達成するための方法として有効か？	a	市民による友好団が自主的に交流活動を進めていくうえで、市として側面的に支援することは有効である。
効率性 3 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	隔年の訪問事業のほか、物産交流(あっせん)等、相互交流活動に積極的に取り組んでおり、その運営の中で補助金は有効に活用されている。
公平性 3 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	友の会の様々な活動を通じて、両地域の住民に姉妹都市のPRがなされている。
達成度 3 活動指標、成果指標の達成度は？	b	友の会双方の積極的な取り組みで、様々な交流が実現している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	姉妹都市の友の会同士の交流は順調であり、また青少年交流、特産品の相互斡旋など、互いの人的、物的交流も同様である。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	2	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	都市交流事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	5	交流活動の推進
		基本事業	1	国内交流の推進
		実施計画事業	1	姉妹都市・友好都市交流の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	友好都市である東京都杉並区との交流事業の推進					
対象(何を又は誰を)	都市交流実行委員会					
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	市は都市交流実行委員会の事務局として側面的な支援を行い、交流にちなんだイベント活動を支援する					
意図(どのような成果を期待しているか)	文化、教育、観光など各分野にわたる交流の発展					
事業実施主体	都市交流実行委員会、名寄市					
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期	年度)	無
根拠法令・条例等						

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 イベントの開催(名寄市内) 名寄での実行委員会関係イベント数	回	目標					
			実績	5	5	5		
	2 イベントの開催(首都圏) 主に杉並区での実行委員会関係イベント数	回	目標					
実績			6	12	11			
3			目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
2			目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	3,151	3,348	3,479	2,905	都市交流事業費
国道支出金					・旅費 1,135
地方債		2,600	2,000	2,000	・都市交流実行委員会補助金 2,344
その他				100	
一般財源	3,151	748	1,479	805	
人件費	2,506	2,486	2,486	2,486	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.38	0.38	0.38	0.38	
総事業費	5,657	5,834	5,965	5,391	
対前年比(%)	—	103	102	90	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	総事業費/(名寄市内と杉並区のイベント関係
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 3 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	b	旧風連町時代からの交流が25年にわたり続いており、その間様々な交流活動が実現している。
有効性 3 目的を達成するための方法として有効か？	b	名寄市及び杉並区でのイベント等に関して窓口となっている団体であり、補助金により支援することは適当である。
効率性 4 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	実行委員会の会計から、補助金部分について余剰があれば市に戻入している。
公平性 3 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	杉並区との交流が続いてきたことにより、市民にとって、文化・教育・経済の面で様々な機会が多方面にわたり実現している。
達成度 3 活動指標、成果指標の達成度は？	b	名寄市及び杉並区でのイベント、あるいは視察団や住民の訪問、特産品の斡旋販売などを都市交流実行委員会が窓口となって行っており、互いの交流の進展及び名寄市のPR等に寄与している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	杉並区との文化・教育等における人的・物的交流が開始以来順調に推移し、首都圏における名寄市の物産販売などPR活動の機会などが実現・定着している。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	2	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	ふるさと会交流の推進			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	5	交流活動の推進
		基本事業	1	国内交流の推進
		実施計画事業	2	ふるさと会交流の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	本市の情報を発信しながら、市外に居住する名寄にゆかりのある人々による「ふるさと会」の自主的な取り組みを側面から支援することで、市民との交流を図り、人的・経済的な地域の振興を図る。				
対象(何を又は誰を)	ふるさと会				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	ふるさと会のイベント、ツアー等の活動に支援を行う				
意図(どのような成果を期待しているか)	名寄の応援団であるふるさと会に対し、会員間の交流や名寄の地域振興に寄与する活動を推進する。				
事業実施主体	ふるさと会(東京なよろ会、さつぼろ名寄会、札幌風連会、旭川風連会)				
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度)	無
根拠法令・条例等					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 ふるさと会活動の支援 会員への情報提供支援等	件	目標	4	4	4	4	
			実績	4	4	4	4	
	2	目標						
		実績						
成果指標	1 ふるさと会活動の支援 会員への情報提供支援等	件	目標	4	4	4	4	
			実績	4	4	4	4	
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	1,119	1,164	1,253	1,653	ふるさと会交流事業費
					・報償費 270
国道支出金					・旅費 150
地方債			400	400	・需用費 374
その他					・ふるさと会運営補助金 460
一般財源	1,119	1,164	853	1,253	
人件費	4,177	4,143	4,143	4,143	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.63	0.63	0.63	0.63	
総事業費	5,296	5,307	5,396	5,796	
対前年比(%)	—	100	102	107	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ~

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 3 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	b	ふるさと会による活動が、各地での名寄PRやふるさと納税につながっている。
有効性 3 目的を達成するための方法として有効か？	b	会員間の親睦やPR活動に対し支援をすることは有効である。
効率性 3 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	会の活動に補助金は有効に活用されている。
公平性 3 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	会の活動は活発に行われている一方、総会の参加率が高くないので工夫が望まれるほか、会への加入は任意であり、今後に向けより多くの会員の加入勧誘が必要である。
達成度 3 活動指標、成果指標の達成度は？	b	会員間の親睦活動や、首都圏における名寄のPRイベントの協力など、活発な活動に結び付いている。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	長年にわたる活動が今も継続して行われている一方、会員の高齢化が進んでいることから、今後の活動を担う新会員の増加が望まれる。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること) 各会に新規会員確保への取り組みを進めていただく。	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	1次評価のとおり